



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月2日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社フジミインコーポレーテッド

コード番号 5384 URL <https://www.fujimiinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史

問合せ先責任者 (役職名) 財務本部長 (氏名) 川島 敏裕 TEL 052-503-8181

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	25,352	△18.5	3,949	△49.5	4,430	△46.6	3,377	△45.1
2023年3月期第2四半期	31,097	23.0	7,819	27.0	8,293	30.5	6,155	28.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,179百万円 (△35.0%) 2023年3月期第2四半期 7,968百万円 (54.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	45.53	—
2023年3月期第2四半期	82.90	—

(注) 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	82,489	71,422	86.6	962.78
2023年3月期	80,101	69,011	86.2	930.27

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 71,422百万円 2023年3月期 69,011百万円

(注) 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり純資産は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	110.00	—	110.00	220.00
2024年3月期	—	36.67	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	36.67	73.34

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、2024年3月期及び2024年3月期（予想）の配当金については、株式分割後の金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2024年3月期の第2四半期末配当金は110円01銭、2024年3月期（予想）の第4四半期末配当金は110円01銭、合計220円02銭となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,500	△15.2	7,100	△46.4	7,650	△43.7	5,800	△45.3	78.18

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有
2. 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、2024年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、通期で234円55銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	80,098,500株	2023年3月期	80,098,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	5,915,121株	2023年3月期	5,914,392株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	74,183,551株	2023年3月期2Q	74,250,648株

- (注) 1. 2023年7月1日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式数）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。
2. 当社は、業績連動型株式報酬制度 株式給付信託（BBT）及び株式給付信託（J-E SOP）を導入しており、当該信託に残存する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、世界的な景気後退と地政学リスクへの懸念が一層高まり、世界経済の不透明感は強まりました。資源・エネルギー価格は再び上昇に転じ、鈍化傾向にあったインフレ率に下げ止まりが見られました。また、中国の景気は不動産市場の悪化を契機に弱含みが続いており、世界経済の下振れリスクが高まっております。

世界半導体市場は、PC、スマートフォン及びサーバー市場の低迷に伴い、昨年秋以降の半導体デバイスの生産及び在庫の調整が想定以上に長引いており、シリコンウェハールにおいても減速感が強まっております。

こうした状況下、半導体向け製品の販売が減少したことに加え原材料価格等の上昇の影響を受け、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高25,352百万円（前年同期比18.5%減）、営業利益3,949百万円（前年同期比49.5%減）、経常利益4,430百万円（前年同期比46.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,377百万円（前年同期比45.1%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

日本につきましては、主に最先端メモリデバイス向けCMP製品及びシリコンウェハール向け製品の販売が減少したことにより、売上高は14,862百万円（前年同期比20.2%減）、セグメント利益（営業利益）は売上減少に加え原材料価格等の上昇の影響を受け、3,723百万円（前年同期比45.9%減）となりました。

北米につきましては、CMP製品及びシリコンウェハール向け製品の販売が減少したことにより、売上高は3,463百万円（前年同期比15.9%減）、セグメント利益（営業利益）は124百万円（前年同期比79.5%減）となりました。

アジアにつきましては、先端ロジックデバイス用CMP製品は拡大基調にあったものの、主にマチュアロジックデバイス用CMP製品及びHDD（ハードディスクドライブ）向け製品の販売が減少したことにより、売上高は6,171百万円（前年同期比15.8%減）、セグメント利益（営業利益）は1,465百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

欧州につきましては、CMP製品及びシリコンウェハール向け製品の販売が減少したことにより、売上高は855百万円（前年同期比15.4%減）、セグメント利益（営業利益）は48百万円（前年同期比48.5%減）となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハール向け製品につきましては、第2四半期においてシリコンウェハールの減速感が更に強まったことを受け、前四半期比でラッピング材では29.0%減、ポリシング材では22.4%減となり、累計売上高はラッピング材では2,818百万円（前年同期比19.6%減）、ポリシング材では5,487百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

CMP向け製品につきましては、先端ロジックデバイスの量産が進んだことから、第2四半期売上高は前四半期比で3.3%増となりましたが、マチュアロジックデバイスやメモリでの稼働調整色が強く、累計売上高は12,962百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、HDD（ハードディスクドライブ）市場の生産及び在庫の調整を受け、売上高は470百万円（前年同期比53.1%減）となりました。

一般工業用研磨材につきましては、売上高は2,229百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、2,387百万円増加し、82,489百万円となりました。受取手形及び売掛金が408百万円、現金及び預金が582百万円それぞれ減少したものの、その他の有形固定資産が1,813百万円、原材料及び貯蔵品が755百万円、有価証券が500百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、22百万円減少し、11,066百万円となりました。これは、その他の流動負債が785百万円増加したものの、買掛金が927百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、2,410百万円増加し、71,422百万円となりました。これは、利益剰余金が610百万円、為替換算調整勘定が1,517百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、半導体需要の低迷に伴い、半導体デバイス向けCMP製品及びシリコンウエハー向け製品の販売が減少したことから、売上高及び利益が予想を下回る結果となりました。下期においても半導体市場の調整はしばらく継続し、本格的な回復には今なお時間を要すると見られることから、2023年5月10日に公表した2024年3月期通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日付で別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,538	32,956
受取手形及び売掛金	11,246	10,838
有価証券	2,700	3,200
商品及び製品	5,820	5,452
仕掛品	1,451	1,510
原材料及び貯蔵品	6,329	7,085
その他	552	453
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	61,623	61,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,661	6,941
その他(純額)	8,165	9,978
有形固定資産合計	14,827	16,920
無形固定資産		
	241	208
投資その他の資産		
投資有価証券	2,282	2,671
繰延税金資産	987	1,067
その他	149	148
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,409	3,878
固定資産合計	18,478	21,007
資産合計	80,101	82,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,247	3,319
未払法人税等	891	1,045
賞与引当金	1,354	1,252
役員賞与引当金	—	42
その他	3,154	3,940
流動負債合計	9,648	9,600
固定負債		
繰延税金負債	3	6
退職給付に係る負債	925	926
株式給付引当金	191	188
その他	321	344
固定負債合計	1,441	1,466
負債合計	11,089	11,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,038	5,038
利益剰余金	60,310	60,921
自己株式	△4,414	△4,415
株主資本合計	65,688	66,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	681
為替換算調整勘定	2,998	4,515
退職給付に係る調整累計額	△85	△72
その他の包括利益累計額合計	3,323	5,124
純資産合計	69,011	71,422
負債純資産合計	80,101	82,489

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	31,097	25,352
売上原価	16,302	14,684
売上総利益	14,795	10,668
販売費及び一般管理費	6,975	6,719
営業利益	7,819	3,949
営業外収益		
受取利息	35	88
受取配当金	22	45
為替差益	526	304
その他	48	53
営業外収益合計	633	491
営業外費用		
支払利息	3	3
固定資産除売却損	2	4
投資有価証券評価損	42	—
その他	110	2
営業外費用合計	159	10
経常利益	8,293	4,430
特別損失		
システム障害対応費用	66	—
特別損失合計	66	—
税金等調整前四半期純利益	8,226	4,430
法人税、住民税及び事業税	2,270	1,222
法人税等調整額	△199	△169
法人税等合計	2,071	1,053
四半期純利益	6,155	3,377
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,155	3,377

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	6,155	3,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	271
為替換算調整勘定	1,870	1,517
退職給付に係る調整額	11	12
その他の包括利益合計	1,812	1,801
四半期包括利益	7,968	5,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,968	5,179

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,226	4,430
減価償却費	826	963
長期前払費用償却額	0	3
システム障害対応費用	66	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	45	41
賞与引当金の増減額 (△は減少)	655	△120
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	19
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△781	△3
受取利息	△35	△88
受取配当金	△22	△45
支払利息	3	3
為替差損益 (△は益)	△100	△29
固定資産除売却損益 (△は益)	1	1
投資有価証券評価損益 (△は益)	42	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,225	687
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,912	6
仕入債務の増減額 (△は減少)	108	△1,139
未払金の増減額 (△は減少)	105	424
その他	323	10
小計	5,346	5,165
利息及び配当金の受取額	58	132
法人税等の支払額	△2,642	△1,094
法人税等の還付額	84	100
システム障害対応費用の支払額	△34	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,811</b>	<b>4,303</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,813	△1,923
定期預金の払戻による収入	2,558	1,313
有価証券の取得による支出	—	△500
有価証券の償還による収入	801	—
有形固定資産の取得による支出	△890	△2,230
投資有価証券の取得による支出	△610	—
無形固定資産の取得による支出	△6	△13
その他	0	△41
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>38</b>	<b>△3,395</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△2,527	△2,766
自己株式の取得による支出	△0	△1
その他	△45	△48
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,573</b>	<b>△2,816</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	946	644
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,223	△1,264
現金及び現金同等物の期首残高	34,402	35,332
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,626	34,067

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生じる収益	18,635	4,118	7,331	1,011	31,097	—	31,097
外部顧客への売上高	18,635	4,118	7,331	1,011	31,097	—	31,097
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,116	1,141	75	—	6,334	△6,334	—
計	23,752	5,260	7,407	1,011	37,431	△6,334	31,097
セグメント利益	6,879	606	1,911	94	9,491	△1,672	7,819

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,672百万円は、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費△1,265百万円及び棚卸資産の調整額△411百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「北米」において1,831百万円増加しております。これは、主に為替の影響によるものです。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生じる収益	14,862	3,463	6,171	855	25,352	—	25,352
外部顧客への売上高	14,862	3,463	6,171	855	25,352	—	25,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,240	659	68	—	4,967	△4,967	—
計	19,102	4,122	6,239	855	30,320	△4,967	25,352
セグメント利益	3,723	124	1,465	48	5,361	△1,412	3,949

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,412百万円は、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費△1,279百万円及び棚卸資産の調整額△138百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。